

## 第1回釜石市民ホール建設検討委員会開催結果

日 時	平成 25 年 8 月 6 日（火）午前 10 時 00 分から 11 時 40 分まで
場 所	市役所第 4 会議室
出席者	次頁のとおり
次 第	以下のとおり
結 果	下記のとおり

### <次第>

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員委嘱状交付及び委員紹介
4. 委員会要綱について
5. 委員長選出
6. 東部地区フロントプロジェクトについて
7. 市民ホール等の検討状況について
8. 意見交換
9. 事務連絡
10. 閉会

第1回釜石市民ホール建設検討委員会 出席者名簿

氏名	備考	出欠
◆釜石市民ホール建設検討委員会		
岩切 潤	釜石市芸術文化協会会長	出席
佐々木 重雄	釜石商工会議所専務理事	出席
木下 佳子	かまいしの第九実行委員会事務局長	出席
久保 秀俊	市民劇場実行委員会事務局長	出席
山内 真紀人	釜石市民吹奏楽団指揮者	出席
野島 諭	宝樹寺住職	欠席
菊池 政時	画家	出席
山崎 詔子	演奏家	出席
福成 菜穂子	自営業	出席
山口 里美	R C F 復興支援チーム	欠席
井上 淑子	市民公募	出席
西条 佳泰	市民公募	出席
◆事務局		
平松 福壽	釜石市	復興推進本部 リーディング事業推進室 室長
佐々木 護		主任
菊池 太介		主任
茨木 いずみ		釜石リージョナルコーディネーター
伊東 正示	株式会社シアターワークショップ 代表取締役	
山下 貴子	株式会社シアターワークショップ チーフ	
◆庁内関係者		
菊池 郁夫	釜石市 教育次長兼市民文化会館館長事務取扱	
佐々木 研一	釜石市教育委員会 市民文化会館館長補佐	

## <結果>

### 1. 開会

### 2. 挨拶（野田市長）

震災復興にお力添えをいただき感謝している。鶉住居の防災センターに関する事で8月10日に追悼式を行い、10月には解体することとした。先日、調査委員会から報告書をいただいたが、その中で冒頭、犯人探しではなく市として防災体制の構築を目指すためであることが話された。

震災により市民文化会館が被災したが、旧市民文化会館は、文化の拠点であった。文化や教育イベントで利用されてきたので、残したほうがいいとのご意見もあったが、改修には莫大なお金がかかるため、東部地区の拠点性の観点からも大町に建設することになった。釜石東部地区の拠点性を発揮できるようフロントプロジェクト1～3を計画しているおり、それらは、みなさんの意見を聞きながら前に進んでおり、文化ホールとの相乗効果が期待できる。本日は、皆さんからの忌憚のない意見をお伺いしたい。よろしく願います。

### 3. 委員委嘱状交付及び委員紹介（平松室長）

- ・市長から岩切委員（委員代表）に委嘱状交付
- ・委員紹介
- ・配布資料の確認（佐々木主任）

### 4. 委員会要綱について（平松室長）

- ・要綱の説明（別紙要綱参照）

### 5. 委員長選出

委員会要綱第5条に基づき委員長の選出。事務局案を提示し、岩切委員を推薦。副委員長の選出については岩切委員長より佐々木委員を指名。委員長を岩切委員、副委員長を佐々木委員とした。

#### 岩切委員長挨拶

震災で壊滅的な被害を受けた。委員のみなさんは、素晴らしい経歴の持ち主であり、活発なディスカッションを行いたい。

### 6. 東部地区フロントプロジェクトについて（平松室長）

市民文化会館を含む東部地区フロントプロジェクトについて説明（別紙資料参照）

## 7. 市民ホール等の検討状況について（シアターワークショップ伊東社長）

市民ホールと交流センターの検討を行っており、これまでの経過をご報告する。当社は、リアスホールやさくらホール、マリオス等岩手県内でも実績がある。市民ホール基本構想検討段階で市民の皆さん約 30 名からヒアリングを行っている。（別紙参照）大ホールに関しては、800 席ぐらいがいいのではというご意見をもらっている。そのかわり日常的に文化活動が行え、マルチに使えるスペースが欲しいとの意見が多かった。施設の構成、前提条件は旧市民文化会館と同じ規模を想定している。800 席は、生音、演技が十分に伝わる規模。展示スペース、小ホールは転用可能とし、練習室は全て防音対策をする。会議室は他の施設にあることから少なくし、和室としても使えるように工夫する。ロビーは立ち寄り可能な場所とし広場と一体的に使える空間構成としたい。様々なイベントに対応できるホールとし通常は劇場となる。

### 交流センターの説明（氏原）

市民が交流する場として基本構想を策定している。市民ホール同様、市民の皆さんからヒアリングをしている。街の復興に寄与するような施設を想定しており、「交流の促進」、「地域資源の収集」、「人材育成・活動創出」、「地域活性化」4 つを目的としている。市民の居場所となることが交流センターの基本的機能であり、まちのインフォメーションセンターとしての機能も持ちつつ、市民活動を支援していく施設を想定。地域を活性化する活動を支援していく。様々な交流が生まれるイメージを持っている。

### モデルプランの説明（伊藤社長）

別添図面のとおり

## 8. 意見交換

久保委員） 大ホールの客席 800 席は決定か？

伊東） 決定ではなく、たたき台として設定している。

井上委員） ホワイエとは？

伊東） 待合室。ロビーと違う。チケットある方が通るところ。ただしホール利用がなくても使えるようにしたいと考えている。

西条委員） モデルプランを聞いてオープン性が感じられた。青葉ビルの機能の棲み分けが必要と感じた。IT 関係の支援をしている。みんなが集まれる場所がない。中高生、若者、高齢者も利用できる交流センターに期待している。

氏原） 青葉ビルとの機能分担は意識している。交流センターには保存記録をデジタル化して記録していく機能等も考えている。

岩切委員長） 茶道、琴などの団体は、旧文化会館の 3 階和室をよく利用しており、和室

の利用が見込まれる。ホワイエについて、以前は展示スペースが少なく、ホワイエも展示スペースとして利用していたが、照明の関係で使い勝手が良くなかった。その点については要望する。

- 山崎委員) 楽器がおけるスペースなどはあるのか。
- 伊東) 施設の備品庫を確保する予定だが、あくまでも館所有を想定。各団体所有のものについては今後の検討となる。
- 久保委員) 旧文化会館ホワイエを利用する時に防災の観点から規制が細かすぎた。使い勝手が良くなかった。
- 伊東) 避難導線については館の運営者との協議が必要だが、避難導線を確保しながらどのように利用するかを進めていくことが大事。今後検討する。
- 山内委員) 北上のさくらホールや大船渡市のリアルホールで演奏してきた。人が集まることに重点を置きすぎて、音楽ホールであることを忘れないでいただきたい。これは演奏家としての感想。子供たちがそこで何をやるか。音楽ホールは芸術文化の象徴としてのイメージを位置付けてほしい。統制が取れなくなってしまうように崇高なものにしていただきたい。そういった認識をもっていただける音楽ホールにしてもらいたい。リアスホールは図書館も併設されている。導線を分けている。いろんなことができる施設もいいが、重なり合わないようにしてもらいたい。料金設定も安くするべき。これまでは高額すぎたので、安く抑えてほしい。打楽器等の保管について、拠点となる団体が楽器を保管できるスペースが必要。持ってくるのではなく置いておきたい。そこにかかるお金は団体が負担する。
- 福成委員) 市民ホールに期待している。3万人規模の都市で持続可能な施設にしてもらいたい。山内委員の意見もごもっともで、貴重な意見として持ち帰る。一方で、子供たちの負担にならないような維持管理可能な施設にしなければいけない気がする。誰もいないホールで、その維持管理を負担することがいいのかとも思う。青葉ビルに関しては市民の皆さんがいきいきして利用している。中高生が普段使いで利用している。そういった機能もあったほうがいい。山内委員の考え方との共存も必要だと思う。
- 井上委員) 道路がよくなって人が出ていくもあるし入ってもくる。人を呼び込む取り組みも大事だと考えている。
- 菊池委員) 1Fギャラリー隣の倉庫のところに作品を置けないか。また、2Fの渡り廊下もギャラリー的に使えるのではないか。
- 岩切) これから設計するにあたりまた意見を聞く機会もあるのだろう。具体的な設計段階でパワーポイント等を活用して図面提示していただきたい。
- 久保委員) みんなが気軽に利用できる施設でもいいとは思いますが、交流ホールと市民ホールは機能を分けたほうが良いと思う。

- 木下委員) 市民センターについて、シンプルなものがないのではないかと考えている。提示のあったプランについて賛成だ。運営するときはどういった運営をするか。市民の参画して運営していくような考えが必要だ。モデルプランについては素晴らしいと思っている。
- 佐々木委員) これまでの文化会館は災害発生時に避難施設として活用されていた。災害時の避難施設の機能も付与して欲しい。震災後初の大きな公共事業となるので、その辺の検討が必要ではないかと思う。大船渡市のリアスホールは導線が良くわからないので迷う。旧文化会館は廊下も広くゆったりしていて、利用しやすかった。使い勝手も非常に大事なこともう。見る時も歩くときも楽だった。
- 井上委員) トイレの数が少ないように感じたが。
- 伊東) トイレの配置は決まっていない。全体のなかで割り振りがある。さまざまな方が利用できるようなトイレを検討する。
- 菊池委員) 市に映画館がない。映画を観ることができるような施設が常設ではなくてもあったほうがいい。
- 山内) リアスホールのなかにあるテナントに以前勤めていた。ホールの中にある店舗について、利益がどれくらい上がるかによるが、わざわざホールの中に出店しなくても良いのではないか。復興が進むにつれて周辺で再開しているお店もある。商業施設ありきではなく、人を呼ぶ手段として文化施設として図書館を併設したり、ガラス張りの練習場の併設で十分だと思う。商業系の配置は共倒れになりそうな気がする。
- 井上委員) 映画館は周辺に誘致できるのか？
- 平松室長) おそらくできない。
- 久保委員) ホールが狭くなると客席が急勾配となる。高齢者には厳しい。
- 岩切委員長) 資料をみて委員の皆さんも意見があるだろう。熱が冷めないうちに2回目も開催すべき。今回提示があった資料を持ち帰っていただき各団体でご意見をもらいたい。
- 福成委員) 委員の年齢層が高い。中高生の意見も聞きたい。ヒアリングでもいい。どんなふうに考えているのか聞きたい。
- 平松室長) 中高生の参加について、検討する。
- 山内委員) 東京ドームや日本武道館がなかったらどう思うかだと思ふ。中高生に聞くことは大事だ。

## 9. 事務連絡 (平松室長)

今後のスケジュールについて説明

検討委はあと2回開催を予定している。よろしく願います。

10. 閉会 平松室長

基本構想策定に係るご意見を取りまとめて盛り込んでいく。よろしく願います。アドバイザーにも本日皆様からいただいた意見を送り、ご意見をもらう予定。